

Lesson 03

「プロ」とは（後編）

ニスコパーソナル 琴似教室 / 平岡公園教室

こんにちは。

ニスコパーソナル
琴似教室・平岡公園教室統括の朝日です。

前編では友人との体験談をもとに
お話ししました。

後編は私の個人的な見解を
述べてまいりたいと思います。
ずらずらと…(笑)

結論から申し上げますとプロとは…

最先端の知識・技術に身を置いている者
と考えています。

どのような分野においても
技術というのは年月とともに
廃れていきます。

それはあらゆるジャンルにおいて
日々研究がすすんでいるからです。

我々は知識の専門家ですが、
知識も永遠のものではなく古く廃れます。

あらゆる知識は研究され、
にっしんげっぽ
日進月歩で最新の知識が
次々に更新されています。

私たちは専門家として
**絶えず最新の知識に
アップロードし続けて
皆様に“配信”していかなくてはなりません。**



よく誤解されるのが社会科です。

地理は「現代」の内容なので
地名国名や貿易等の統計的数が
変わるかもしれないと警戒されます。

一方で歴史はすでに起こった
「過去」のことなので
変わらないから大丈夫と。

しかし、歴史研究というものは
恐るべき人員とスピードですすめられています。

そして過去の歴史的事実に対する
アプローチが四方八方からなされ
歴史が改訂され続けていますので
まったく油断なりません。

他の科目についても同様のことが言えますが、
嘆かわしいのは、
塾講師や学校の先生の中には、
自身の知識・技術をアップロードせずに
古臭い方法論と内容を語り続けている者たちが
それなりに多くいる
という事実です。

**自分を成長させる努力と
技を磨く研鑽を止めた者はプロではありません。**

常に、今手にしている知識・技術に
疑問を持つべきです。

私は読書を中心に自分の知識を更新するようにしていますが、それですら古い知識となっていないか絶えず注意せねばと思っています。

少し前に読んで得た知識…
と書いていても5年が経過している！
なんてこともよくあります(笑)



振り返ってみると
私が過去に尊敬した方々は、
何歳になっても学ぶことをやめない人たち
でした。

常に新人の心を失わず、
気持ちの若い方たちばかりです。

初心忘れるべからずとはよく言ったものです。

最先端の知識・技術を学び続ける者。

それが私が考える
プロフェッショナルです。

